

金大大学院医学系研究科臨床研
究開発部代理医藤澤孝典准教授の大野
智特任准教授は今月下旬まで、がん
に効くとされる健康食品「アガリ
クス」について、公的研究を用いた
臨床試験を国内で初めて開始す
る。キノコの一種「アガリクス」はがん
患者の利用頻度が高いが、がん
の予防・治療効果を科学的に証明
した報告は今までほとんどなく、
この臨床試験で「アガリクス」の安全
性や抗がん作用の効能が明らかに
なることが期待される。

臨床試験は、厚生労働
省がん研究助成金「がん
の代替療法」の科学的検証
と臨床応用に関する研究
と臨検の一環で、金大附属
病院と四国がんセンター
(愛媛県)との共同研究
として行われる。

安全性も確認

がんと診断され、治療
を終えて経過観察中の
人を対象に、患者を三
グループに分け、動物
実験などで安全性が確
認されている市販のア
ガリクス製品を一日一
包（一・八グラム）三包、
六カ月間摂取し続けて
みる。二カ月ごとに採
血し、肝臓や腎臓への
副作用および免疫機能や
生活状況への影響を調べ

金大・大野
特任准教授

国内初、臨床試験へ

健康食品「アガリクス」

抗がん作用 効果明らかに

この試験で人に対する
アガリクス製剤の安全性
が確認できれば、がんへ
の有効性を調べる次の階
級の試験へ進む予定であ
る。

「6割」が摂取

国内では多のがん患者
がアガリクスやアロポ
リスといった健康食品をた
り利用している。厚生省研
究班が二〇〇五年に発
布した調査結果では、がん
の進行抑制効果を期
待して利用しているが、
製品のアグリメント、濃度
や成分などの補完代替医
療を利用しているがん患
者のうち約六割はアガリ
クス製品を摂取してい
る。

医療関係者にまだ、
患者の多くは健康食品
や有効性を確かめること
は非常に重要だと、臨床
試験に参加する患者
約九十人を募集してい
る。問い合わせは金大
大学院医学系研究科臨床研
究開発部代理医藤澤孝典
准教授（0976-2665）2
1477まで。



がん効果とされる「アガ
リクス」の臨床試験を国内で初
めて実施する大野特任准教授（金大）



アガリクスはハラタケ科
に属するアガリクス属の
ワケハタ科、知名種カ
ワタリタケ、日本で
は人工栽培されている。
1980年代にがん抑制作
用が動物実験などで報告さ
れた。人でのがん効果に期待
が寄せられ、キノコの菌糸や一
部を原料にした粉末や錠
剤などの製剤が「抗がん作用が
ある」「免疫力を高める」など
とされて健康食品として販
売されている。

臨床試験に使われる市販の
アガリクス製品